第 6 回

越 谷 市 教 育 委 員 会 議 事 録

平成２７年 ５ 月２８日

定 例 会

平成２７年第６回越谷市教育委員会会議録

招集年月日　　平成２７年５月２８日

招集の場所　　教育委員会室

開閉会日時　　開会５月２８日　午前１０時００分

閉会５月２８日　午前１０時３０分

出席委員

委員長	住田　俊	委員長職務代理者	櫻田玲子
委員	堀川智子	委員	進藤秀子
委員（教育長）	吉田　茂		

欠席委員　　な　し

説明のため会議に出席した者の職氏名

教育総務部長	横川　清	学校教育部長	野口久男
教育総務部副部長兼スポーツ振興課長	植田春夫	学校教育部参事兼学校管理課長	日下部行雄
教育総務部副参事兼図書館長	小林彰博	学校教育部副参事兼学務課長	上野高弘
教育総務課長	山梨一弘	学校教育部副参事兼給食課長	川村　明
生涯学習課長	福田　博	指導課長	瀧田　優
蒲生公民館長	永山　毅	教育センター所長	小林俊夫
生涯学習課調整幹兼科学技術体験センター所長	小林中子	指導課調整幹	中台正弘
		給食課調整幹兼第一学校給食センター所長	坂巻眞人

職務のため会議に出席した者の職氏名

教育総務課副課長	中村則行

	議　　事	てん末
議事状況	協議事項	
	・平成２７年度教育委員会の事務に関する点検及び評価の実施について	
	その他	
	・越谷市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部を改正する告示について	
	・平成２７年度学校基本調査による児童生徒数等について	

◎開会の宣告

住田委員長　それでは、これより５月の定例教育委員会会議を開会いたします。

本定例会に関し、１名の方から傍聴許可願が提出されておりますが、教育長報告の教育長専決第10号については、人事案件であることから秘密会とし、先に審議したいと思いますが、これにご異議ありませんでしょうか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

住田委員長　ご異議ないようですので、そのように進めさせていただきます。

（午前　１０時００分）

◎平成27年度教育委員会の事務に関する点検及び評価の実施について

住田委員長　ここで、傍聴人の入室を許可いたします。

それでは、続きまして協議事項に入ります。

「平成27年度教育委員会の事務に関する点検及び評価の実施について」、教育長のご説明をお願いします。

吉田教育長　教育総務課長。

山梨教育総務課長　それでは、協議事項「平成27年度教育委員会の事務に関する点検及び評価の実施について」、ご説明申し上げます。

越谷市教育委員会では、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第27条の規定により、平成20年度から、「越谷市教育行政重点施策」に掲げられた主な取り組みについて点検評価を行っておりますが、平成24年度からは、新たに４つの評価の視点「的確性」「充実度・満足度」「将来性」「社会公共性」を取り入れた検証方法を構築するとともに、より専門的な見地からの外部評価を受けるため、教育委員会独自で、教育に関し学識経験を有する方の知見の活用を図っております。

平成27年度につきましても、「平成26年度越谷市教育行政重点施策」に掲げられた重点的な取り組みにつきまして、点検評価及び外部評価を実施してまいりたいと考えております。

本日は、点検評価の実施方法や、今後のスケジュール等につきまして、ご協議いただきたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

それでは、会議要項の７ページをお開きください。まず、１の基本事項のうち、⑴の根拠ですが、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条です。地教行法の第27条の条文を資料下段に掲載いたしましたのでご参照ください。なお、平成27年４月１日から施行している地教行法におきましては、点検評価は第26条に規定されておりますが、本市の場合、新法施行後も引き続き「旧教育長」が在職しているため、旧教育長に関する経過措置により、旧法第27条の規定が、なおその効力を有することとなります。新法と異なる箇所につきましては、アンダーラインでお示

ししましたので、のちほどご確認くださいますようお願いいたします。

次に、⑵の目的でございますが、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民に対する説明責任を果たすことを目的としています。

次に、⑶の法律要件でございますが、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表する必要がございます。この際、どのような点検評価項目を設けるか、また、報告書の様式、議会への報告の方法などについては、各教育委員会がそれぞれの実情を踏まえて決定することとなります。また、点検評価を行う際には、客観性を確保する観点から、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図る必要があるとされております。

会議要項の８ページをご覧ください。２の実施方法のうち、⑴の教育施策の検証でございますが、平成26年度越谷市教育行政重点施策に掲げた49の重点的な取り組みごとに点検評価表を作成いたします。評価表におきましては、資料中段の［図表１］にございますように、「的確性」、「充実度・満足度」、「将来性」、「社会公共性」の４つの視点から、下段の［図表２］のとおり、◎（二重丸）、○（丸）、△（三角）の３段階で自己評価を行います。

会議要項の10ページにございます「点検評価表①　初めて点検評価を行う取り組み」をご覧ください。中段、太枠で囲った「教育施策の検証」の欄となります。

それでは戻りまして、会議要項の９ページをご覧ください。⑵の進捗状況・成果・課題・今後の方向性等及び内部評価についてですが、⑴の「教育施策の検証」の結果を踏まえたうえで、ページ下段にございます〔図表３〕のとおり、ＡからＤまでの４段階での自己評価を行います。

会議要項の10ページにございます「点検評価表①　初めて点検評価を行う取り組み」に係る点検評価表をご覧ください。ページ下段の、太い点線で囲った欄となりますが、平成26年度に実施した事業の概要について記載し、平成26年度末における取り組み全体の進捗状況、成果、課題、今後の方向性等について自己評価を行います。

また、会議要項の12ページにございます「点検評価表②」をご覧ください。こちらは、平成26年度以前に点検評価を行ったことがある取り組みのうち、これまで外部評価は受けていない取り組みに係る点検評価表ですが、12ページ下段の点線より下、大きく②と書いてある欄となりますが、こちらに過去の内部評価結果を踏まえた対応について、具体的に記述することといたします。

戻りまして、会議要項の９ページをご覧ください。次に⑶の外部評価についてですが、平成24年度は６項目、平成25年度は10項目、平成26年度は９項目について、評価者３人によるヒアリングを実施し、内部評価と同様に４段階での評価を受けるとともに、平成25年度に実施した重点的な取り組みに対する点検評価すべてについて、全体を通した総合的な意見をいただきました。平成27年度につきましても同様に、10項目前後の個別の外部評価と合わせて、総合的な意見をいただ

きたいと考えております。

会議要項の12ページにございます「点検評価表②」をご覧ください。見開き右側の13ページになりますが、上から３つの枠に、それぞれの評価者の意見が記載されることとなります。また、一番下の欄には、外部評価を受けての今後の対応等について明示することといたします。

また、会議要項の14ページの「点検評価表③」になりますが、こちらは平成24年度から平成26年度に外部評価を受け、今年度も点検評価を行う取り組みに係る点検評価表ですが、見開き右側の15ページの上段に過去の外部評価の結果を転載し、一番下、大きく③と書かれた欄に、過去の外部評価を受けての、その後の対応等の実績報告を記述することとし、「Ｃｈｅｃｋ」を受けての「Ａｃｔｉｏｎ」の部分を明確に記述します。

次に、『実施スケジュール（案)』についてでございますが、会議要項の16ページをご覧ください。現在予定しているスケジュールにつきましては、昨年度と大きな変更はございませんが、主な点についてご説明いたします。はじめに、今回の５月定例教育委員会会議におきまして、平成27年度の実施概要についてご協議頂き、この内容を受けて、各課所にて点検評価表の作成をするとともに、外部評価の対象となる事業と、外部評価者の候補の選定を行います。７月の定例教育委員会会議におきましては、外部評価の対象事業と外部評価者についてご協議いただきます。その結果を受けて、８月中旬から下旬に、外部評価者のヒアリングを実施する予定でございます。次に、10月の定例教育委員会会議におきまして、点検評価の結果についてご協議をいただきます。その後、事務局にて点検評価報告書を作成し、１月定例教育委員会会議に、当初予算の調整結果などを反映した最終案について、議案として提案させていただきます。そこで議決をいただけましたら、３月の定例市議会への報告書の提出とあわせまして、市のホームページで公表してまいりたいと考えております。

平成27年度の点検及び評価についての説明は、以上でございます。ご協議のほどよろしくお願いいたします。

住田委員長　それでは、これより協議に入ります。

ご意見等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

〔「はい」と答える者あり〕

住田委員長　それでは、このように進めていただきたいと思います。

◎その他

住田委員長　続きまして、その他の報告事項に入ります。

「越谷市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部を改正する告示について」、教育長のご説明をお願いいたします。

吉田教育長　教育総務課長。

山梨教育総務課長　それでは、越谷市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部を改正する告示について、ご報告させていただきます。

恐れ入りますが、会議要項の17ページをお開きいただきたいと存じます。

越谷市告示第204号、越谷市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部を改正する告示を次のように定める。

平成27年５月19日　越谷市長　高橋　努

次に、会議要項の18ページをお開きいただきたいと存じます。「越谷市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部を改正する告示」越谷市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部を次のように改正する。

別表を次のように改める。

さらに、会議要項の21ページ、新旧対照表をご覧ください。越谷市私立幼稚園就園奨励費補助金の交付にあたっては、毎年、国庫補助基準の改正に準じ、本市交付要綱の改正を行っております。左側の表のうち、下線を引いた箇所が今回の変更点となっております。改正の内容といたしましては、一部の階層区分について補助限度額の引き上げを行うものでございます。市民税の所得割課税額が非課税となる世帯について補助限度額の引き上げがなされ、第１子は年額27万２千円、小学校１～３年生の兄・姉が同一世帯にいる園児の区分の第２子及び、表の上記以外の第２子は年額29万円となりました。これにより、平成26年度はそれぞれ19万９千２百円、25万３千円であった補助限度額が、平成27年度からはそれぞれ７万２千８百円、３万７千円の増額となっております。なお、第３子以降につきましては補助金額は30万８千円から変更はございません。

以上でございます。

住田委員長　ただいまの事務局のご説明に対しまして、ご質問またはご意見等ございますでしょうか。

進藤委員。

進藤委員　これは市長部局の話になるのかもしれませんけれども、今回の改正によって、歳出はどのくらい変わる見込みなのでしょうか。

吉田教育長　教育総務課長。

山梨教育総務課長　今回の改正によって、算出した額でございますが、約1,600万円程度の増額となっております。

住田委員長　他にございますか。

進藤委員。

進藤委員　その財源は補助金ということでしょうか。

山梨教育総務課長　1,600万円につきましては、補助金を含めての財源でございます。

住田委員長　他にはよろしいでしょうか。

〔「なし」と答える者あり〕

住田委員長　ないようですので、続きまして「平成27年度学校基本調査による児童生徒数等について」、教育長のご説明をお願いいたします。

吉田教育長　学務課長。

上野学務課長　それでは、恐れ入りますが、会議要項の23ページと25ページをお開きいただきたいと存じます。小学校は23ページ、中学校は25ページとなっておりますので、よろしくお願いします。

平成27年度の学校基本調査による児童生徒数等について、ご報告いたします。

まず、はじめに、会議要項の23ページの小学校の一覧表をご覧ください。なお、表の中央と右端の比較増減の欄にあります黒の三角印は減を表しております。表中央の下の合計欄にありますが、平成27年５月１日現在の在籍児童数は、17,873人でございます。昨年度に比べ56人の増となっております。また、表右端下の合計欄にありますが、学級数は593学級でございます。昨年度に比べ７学級の増となっております。

次に、会議要項の25ページの中学校の一覧表をご覧ください。表中央下の合計欄にありますが、平成27年５月１日現在の在籍生徒数は、8,735人でございます。昨年度に比べ173人の減となっております。また、表右端下の合計欄にありますが、学級数は267学級でございます。昨年度に比べ３学級の増でございます。学級数につきましては、現在、小学校１年生は平成23年４月１日に改正されました「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」に基づき、通常「標準法」と申しますが、１学級35人での編制が行われております。また、小学校２年生及び中学校１年生は、埼玉県においては、少人数学級編制に係る研究指定制度を設け、小学校２年生は35人学級、中学校１年生は38人学級による学級編制の特例を設け、学級編制を行っております。網掛けがなされている部分は、40人学級編制が行われると学級数が減る学年をあらわしております。本市においては、標準法の改正により小学校１年生が20学級、埼玉県の少人数学級編制による研究指定制度により小学校２年生が14学級、中学校１年生が６学級、増えております。平成32年までは、小学校におきましては、横這い傾向となっており、中学校においては、一昨年度より減少傾向となっております。

以上、報告でございます。

吉田教育長　中学校の生徒数が173人の減にもかかわらず、学級数が増えていることについて補足して説明をしてください。

上野学務課長　学級数は全部の学校を合わせて計算となっていますので、例えば、ある学校が生徒

数が２校で161人いた場合、片方の学校が80人で２学級、もう片方が81人で３学級という場合で、会わせて５学級という場合もあるのですけれども、切れ目のところの数値がどうしても変わってきてしまいますので、１人増えて学級が増えるところもあるのですが、１人減ったからといって学級が減らない場合もありますのでトータルで見ますと学級数が増えるという現象がおきます。それから特別支援学級の増加・新設により、児童生徒数以上に学級数が増えるという状況もうまれております。

住田委員長　ただいまの事務局のご説明に対しまして、ご質問あるいはご意見等ございますでしょうか。

櫻田代理。

櫻田委員長代理　小学校２年生と中学校１年生に対して標準学級との差を県で負担して学級数を増やしているというのは、子供にとっては本当に日々毎日のことですので、本当に大きい違いがあると思います。もし財政が可能であれば市でも補助を行って、他の学年でも行うなど続けていくことが出来たらよいなと思います。

吉田教育長　学務課長。

上野学務課長　小学校３年生以降も同じように35人学級を編制できたりですとか、中学校２年生３年生においても38人学級で編制できるようにということで、教育長名で県・国等への要望を出しているところでございます。また、確かに櫻田委員がおっしゃられるように、市で負担できればいいのですが、大変な金額になります。いま現在、市といたしましては、少人数の特別支援教育支援員という様な形で、学習支援員を増員するというような方向で、対応しているところでございます。市単独で35人学級や38人学級を続けていくという予定は今のところございません。

住田委員長　他にはございませんか。

〔「なし」と答える者あり〕

住田委員長　ないようですので、この件につきましては以上といたします。

他に何かございますか。

住田委員長　他になければ以上といたします。

それでは、続きまして、６月の定例教育委員会会議の日程でございますが、いかがいたしましょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長　それでは、次回の教育委員会会議は、６月25日木曜日午後１時30分から教育委員会室で開催したいと思います。

◎閉会の宣告

住田委員長　それでは、以上をもちまして、本定例会に提出されました協議事項等、全て終了いたしまいた。

これをもちまして、閉会といたします。

（午前１０時３０分）

この会議のてん末記載に相違ないことを証するため、署名する。

委員長　佳田俊

委員　櫻田玲子

委員　塚川眉子

委員　進藤秀子

委員（教育長）　吉田武

書記　教育総務課副課長　中村則行